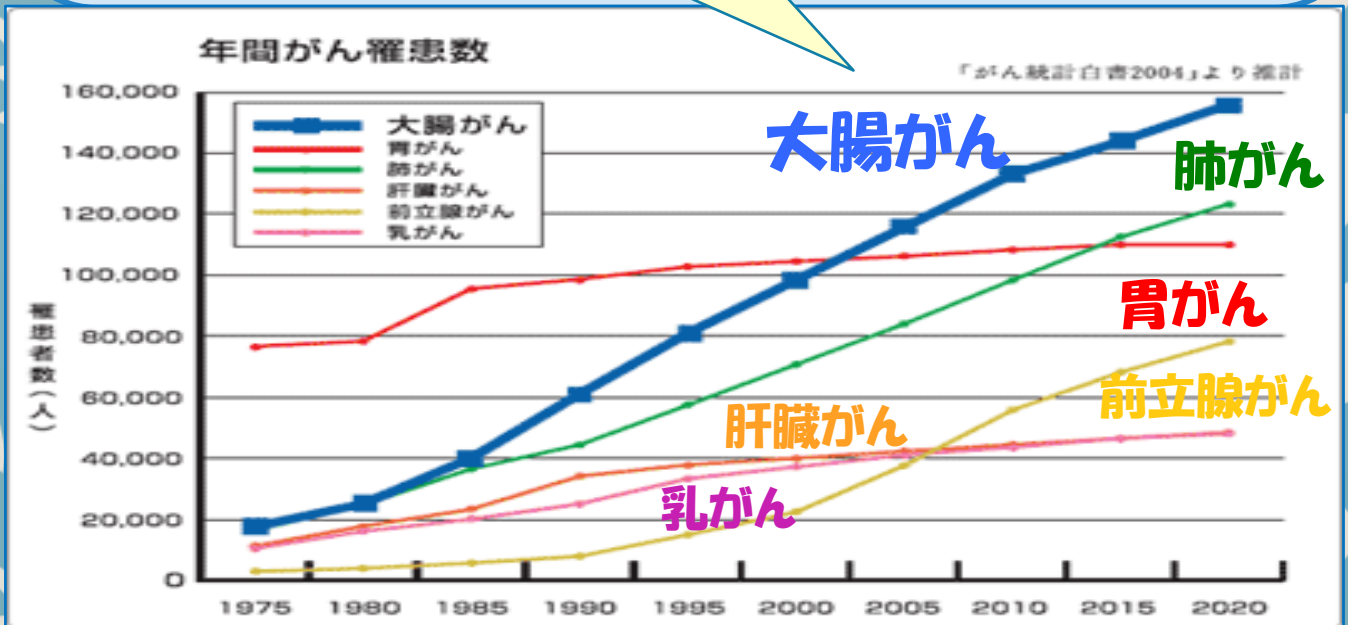


大腸がん検査を受けましょう。

消化器内科からのお知らせ



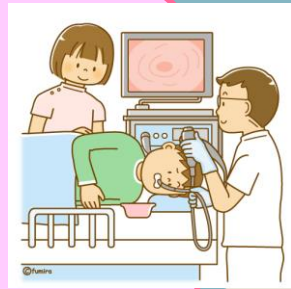
もっと知ってほしい
大腸がんのこと



国立がん研究センターによると2012年、沖縄県は47都道府県で大腸がん死亡率3位、男性に限ると**沖縄県が大腸がん死亡率第1位**でした。それに対して胃癌死亡率は沖縄県は全国で最下位でした。胃のバリウム検査や胃カメラをこれまで何回か受けた人は多いと思いますが、大腸カメラを1度も受けたことのない人は、案外多いのではないのでしょうか。

これまで大腸カメラを一度も受けた事のない方、便潜血などの一次検査を受けていない方、検査を数年受けていない方、ポリープ治療後の方、ポリープがあるとと言われて放置している方、あるいは、最近腹部の違和感、痛み、便秘、下痢などの症状のある方は、是非**当院の消化器内科を受診ください。**

平成27年5月から 消化器内科 医師が2名になりました。



「患者さんにやさしい検査を」

当院では消化器内視鏡専門医が2人います。一人は男性医師、もう一人は女性医師です。女性の方で、女性医師による大腸カメラを特にご希望の方は、古謝亜紀子先生の外来に是非おいで下さい。

(こじゃ・あきこ)

とても腕のいい・やさしい医師です。

また、大腸カメラはどうしても怖いと言う方は、当院では大腸CTという検査も行っています。前処置（検査食＋下剤）は大腸カメラとほぼ同じですが、カメラは使用せず、二酸化炭素で腸を膨らませてCTをとるだけの検査です。



大腸カメラよりは受けやすいと思います。

ただし、大腸CTで異常が疑われた場合は、普通の大腸カメラを受けて頂きます。

大腸カメラや大腸CTについてご興味のあるかたには、分かりやすいパンフレットをお渡しします。外来や検査予約のお問い合わせや不明な点は、遠慮なく内科外来へお尋ね下さい。

消化器内科 外来 月 水 金
火 木

古謝亜紀子
樋口 大介